

【3】貸借対照表 ① (作成している場合)

調査票 P6

1 貸借対照表を作成している場合

(1) 資産

(2) 負債・資本

科目	説明	期末(12月31日) (円)				科目	説明	期末(12月31日) (円)			
		億	千	百	十			億	千	百	十
現金	農業経営の現金		1	86	6	0	0	0	0	0	0
普通預金	農業経営の預金		3	15	0	0	0	0	0	0	0
定期預金	農業経営の定期預金		1	30	5	0	0	0	0	0	0
その他の預金	積立金等										
売掛金	農畜産物販売金額の未収金		1	20	0	0	0	0	0	0	0
未収金	農畜産物販売金額以外の未収金										
有価証券	農業経営所有の有価証券										
農産物等	農畜産物積貯高(専業・家庭消費用を含む)		1	64	3	0	0	0	0	0	0
未収種	立毛作物の棚卸高		1	6	1	0	0	0	0	0	0
農産物等	農産物の育成費用、乳牛・肉用種育成中の牛馬等		3	35	0	0	0	0	0	0	0
肥料その他貯蔵品	肥料(肥・飼料、農業、燃料、飼料等)の棚卸高		1	45	0	0	0	0	0	0	0
前払金	費用、資産購入等の代金の前払金										
貸付金	農業経営の貸付金										
建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高		1	65	1	2	1	0	0	0	0
農機具等	農業用機械等の未償却残高		5	32	1	0	0	0	0	0	0
果樹・牛馬等	果樹・牛馬の未償却残高		3	25	8	5	8	0	0	0	0
土地	農業経営用の農地の固定資産評価価額		7	50	0	0	0	0	0	0	0
土地改良事業受取負債相当	土地改良事業による受益者負担金の額										
	(任意勘定科目欄)										
事業主貸	農業所得の収入金額・負債とならない収入		2	52	3	2	4	4	0	0	0
合計			1	63	4	4	3	1	2	0	0

※ 税務申告に際し、貸借対照表を作成している場合はこのページ(6ページ)の表を、作成していない場合は右ページ(7ページ)の表を使用し、各勘定科目の金額を転記してください。

青色申告決算書(農業所得用)

青色申告決算書を作成されている方は、そのまま転記することができますので、任意勘定科目欄を含めて転記してください。

なお、借入金のうち長期借入金については、「青色申告決算書」の貸借対照表に記載がありませんので、返済期限が1年を超えるものを記入してください。

<長期借入金とは>

農業経営のための金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金の合計額を記入してください。

「農業経営基盤強化資金(スーパーL)」「経営体育成強化資金」「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

J. 貸倒引当金繰入額の計算 (現金主義によっている人は、記入しないでください。)

金額	金額
個別評価による本年分繰入額 (「個別評価による貸倒引当金に関する明細書」の(15)欄の金額を記入してください。)	(a)
一括評価による本年分繰入額 年末における一括評価による貸倒引当金の繰入れの対象となる貸倒引当金の合計額	(b)
本年分繰入限度額 (a × 5.5%)	(c)
本年分繰入額	(d)
本年分の貸倒引当金繰入額 (イ+ニ)	(e)

K. 青色申告特別控除額の計算 (この計算は専業の法人・事業の専業主の(赤字のとき120)円 (青色申告特別控除額を差し引く前の金額) (赤字のとき120)円)

金額	金額
本年分の不動産所得の金額 (青色申告特別控除額を差し引く前の金額)	(f)
青色申告特別控除の金額 (「F」の「損益計算書」の(6)欄の金額を記入してください。)	(g)
65万円と(f)のいずれか少ない方の金額 (不動産所得から差し引かれる青色申告特別控除額です。)	(h)
青色申告特別控除を受ける場合 (65万円-(g)と(h)のいずれか少ない方の金額)	(i)
上記以外 (10万円と(f)のいずれか少ない方の金額 (不動産所得から差し引かれる青色申告特別控除額です。))	(j)
場合 (10万円-(g)と(j)のいずれか少ない方の金額)	(k)

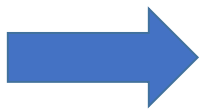
L. 本年における特殊事情

貸借対照表 (資産負債調) (令和2年12月31日現在)

科目	資産の部		負債・資本の部	
	1月1日(前期末)	12月31日(期末)	1月1日(前期末)	12月31日(期末)
現金	183,800	186,600	買掛金	45,000
普通預金	452,000	315,000	借入金	1,350,000
定期預金	2,000,000	1,305,000	未払金	1,190,000
その他預金			前受金	
売掛金	1,000,000	1,200,000	預り金	0
未収金			基礎強化準備金	6,000
有価証券				
農産物等	145,000	164,300		
未収種	224,000	161,000		
育成中の果樹・牛馬	275,000	335,000		
肥料その他貯蔵	118,900	145,000		
前払金				
貸付金			貸倒引当金	55,000
建物・構築物	549,600	1,651,210		66,000
農機具等	10,000	532,100		
果樹・牛馬等	342,654	325,858		
土地	7,500,000	7,500,000		
土地改良事業受取負債相当				
保険積立金				
			事業主借	307,510
			元入金	11,350,954
事業主貸	2,523,244	3,370,848	青色申告特別控除前の所得金額	3,370,848
合計	12,800,954	16,344,312	合計	12,800,954

(注) 「元入金」は、「損益の後の勘定」から「期首の負債の勘定」を差し引いて計算します。

※ 貸借対照表を作成していない場合は、18~21ページをご覧ください。



【3】貸借対照表②（作成していない場合1）

調査票 P7

2 貸借対照表を作成していない場合（貸借対照表相当の勘定科目の把握）

(1) 資産に該当する勘定科目（※①、②、③、④～⑦は、必須項目です）

科目	説明	月末(12月31日) (円)
① 現金	農業経営の現金を記入してください。	1866000
② 預貯金等	本欄（預貯金等の合計）②が記入できる場合は、②-1～②-6の記入の必要はありません。	1620000
普通預金 ②-1	農業経営の普通預金	3150000
定期預金 ②-2	農業経営の定期預金	13050000
その他の預金 ②-3	積立金等	
有価証券 ②-4	農業経営所有の有価証券	
前払金 ②-5	費用、資産購入等の代金の前払金	
貸付金 ②-6	農業経営の貸付金	
③ 売掛未収入金	本欄（売掛未収入金の合計）③が記入できる場合は、③-1、③-2の記入の必要はありません。	1200000
売掛金 ③-1	農畜産物販売金額の未収入金	12000000
未収入金 ③-2	農畜産物販売金額以外の未収入金	
④ 建物・構築物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高	1651210
⑤ 農機具等	農業用機械等の未償却残高	532100
⑥ 果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高	325858
⑦ 土地	農業経営用の農地等の固定資産評価額（土地改良事業受益者負担を含む。）	7500000
土地貸付地 ⑦-2	貸付地の固定資産評価額	
資産合計		13015768

現金

農業経営のための現金及び通貨代用証券の金額を記入してください。
例) 小口現金、手元にある当座小切手、送金小切手、預金小切手、郵便為替証券など

預貯金等

農業経営のための「普通預金」、「定期預金」、「その他の預金」、「有価証券」、「前払金」、「貸付金」の合計額を記入してください。

- ・その他の預金・・・「通知預金」、「納税準備預金」、「出資予約預金」、「貯蓄預金」、「別段預金」、「金銭信託」等
- ・有価証券・・・「株式」、「社公債」、「投資信託」、「貸付信託」等の売買目的及び一年以内に満期の到来するもの。
※ 市場性のないもの、長期保有目的のものとは含みません。

売掛未収入金

「売掛金」は、農産物を販売したものの、代金を受領していないもの、「未収入金」は、農産物以外を販売したものの、代金を受領していないものであり、「売掛金」と「未収入金」を合算して記入ください。

固定資産の必須調査項目が合算されている場合

固定資産の④「建物・構築物」、⑤「農機具」及び⑥「果樹・牛馬等」について、④、⑤、⑥が合算されている場合は、収支内訳書のうち「減価償却の計算」（明細書）から、建物、機械装置、備品、車両運搬具などの資産ごとの「未償却残高」を用いて、種類ごとの金額を計算して記入してください。
※ 明細がない場合は、固定資産台帳を参考にしてください。

○ 減価償却の計算

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 (或熟) 年月	(4) 取得価額 (償却保証額)	(5) 償却の基礎 になる金額	償却 方法	耐用 年数	(7) 償却率 又は 改定償却率	(8) 本年中 の償却 額	(9) 本年 償却 額 (10× 8)	(11) 本年分の必要 繰上入金 (11×9)	未償却残高 (期末残高)	備 考
作業場			()	円								
農機具等車庫			()									
ビニールハウス (備品以外、農業用)			()			10						
			()									
			()									
トラクター			()			7						
田 耕 機			()			7						
コンバイン			()			7						
牧 場 機			()			7						
稲 刈 機			()			7						
耕 う ん 機			()			7						
軽トラック			()			4	0.250					
トラック			()			5	0.200					
一括償却資産			()			-	1/3					

※ 金額そのものが不明な場合は、それぞれの減価償却費を転記してください。

必須項目、枝番等について

資産に該当する勘定科目は、①、②、③、④～⑦の黄色の箇所について必ず記入してください。
なお、流動資産の「② 預貯金等」「③ 売掛未収入金」を記入するにあたっては、枝番を記入することが便利な場合は、使用してください。

※ 必須項目において、記入できない項目があった場合は、農林水産省職員、または専門調査員にその旨をお伝えください。

【3】貸借対照表 ③ (作成していない場合 2)

調査票 P 7

(2) 負債に該当する勘定科目 (※ ⑨～⑭、⑭は、必須調査項目です)

科 目		説 明	期 末 (12月31日) (円)					
負 債	⑧ 流 動 負 債		2	4	3	0	0	0
	⑨ 買 掛 金	原材料等の購入代金の未払金						
	⑩ 短 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金						
	⑪ 未 払 金	買掛金以外の未払金						
	⑫ 前 受 金	生産物の販売を前提にした予約金等						
	⑬ 預 り 金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務						
⑭ 長 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金		1	0	0	0	0	0
負 債 合 計			1	2	4	3	0	0

負債に該当する勘定科目 収支内訳書 (農業所得用)

⑧ 「流動負債」は、農業経営のために、1年以内に支払いや返済する必要のある負債の合計額を記入してください。(⑨～⑭が内訳となります。)

⑨ 「買掛金」は、原材料(肥料や飼料などの生産資材)等の購入代金の未払金を記入してください。

⑩ 「短期借入金」は、農業経営のために金融機関等からの借入金のうち返済期限が1年以内(期末における金融機関貸越し、家族借入れも含みます)の借入金を記入してください。

⑪ 「未払金」は、⑨以外の未払金

⑬ 「預り金」は、専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務です。

※ ⑩～⑬あ、記入する必要はありませんが、⑧の流動資産を記入する際に記入したほうが便利な方は記入してください。

⑭ 「長期借入金」は、農業経営のための金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金の合計額を記入してください。
 「農業経営基盤強化資金(スーパーL)」「経営体育成強化資金」
 「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」
 「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。